

# 2023 吃音指導講座 構音指導講座 開催のご案内

2022<<後期>>構音指導講座・吃音指導講座には、コロナ禍が収まりきらない中で開催にもかかわらず、全国各地からご参加をいただき、ありがとうございました。

新型コロナも、ようやく下火(?)になりつつあるとは言え、まだまだ安心できる状況ではないようです。

しかしながら、コロナ前の日常をとり戻しつつある現状を踏まえ、ご本人や親御さんの心情を思えば、ここでなお、足踏みしている訳にはいかないとの皆様の気概を想像し、**2023 吃音指導講座・構音指導講座の開催**を計画いたしました。

今講座でも、できるだけ指導動画、また、参考動画を中心に据え、具体的な場面から問題の本質や指導の理念を解説していきたいと考えています。

ぜひご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

## 《 新型コロナウイルス への対応 》 について

【 基本的には、各都道府県の対策や要請を遵守して下さい 】

また

《 山形県の状況も把握くださるようお願いいたします 》

## 2023 講座の延期・中止の連絡について

講座の延期が、事前に予想された場合は、**7月31日(月)**までに、

親子ことばの相談室のHPでご連絡いたしますのでご留意下さい。

また、既に申し込まれた先生方には、**所属所**にも、FAXにて連絡いたします。

ホテル・交通機関等の利用にかかる費用のキャンセル料金につきましては、各自ご負担いただきますようお願い申し上げます。

## 子どもを育む構音指導の実際

### — 側音化構音の早期改善・早期指導終了を目指す構音指導 その5 —

#### ● 構音指導への基本スタンス ●

“子どもを育む構音指導”とは、どのような指導のことなのでしょう？

指導が終了し、いよいよお別れの時、以下のような様子に遭遇できれば、“子どもを育む構音指導”になっていたと、密かに喜んで良いのではないかと思います。

- 側音化構音であっても、**構音が直った上に、明るくなって友達もできた。教室で手を挙げるようになった。**
- 側音化構音であっても、**構音が直ったばかりか、私（母親）の話（悩み）も聞いてもらえた。**

このような言葉をお聞きしたいがために、50年以上の年月を、自己研鑽に費やしてきたような気がします。そして、これからも続くのだと思います。

親御さんからの言葉の“key Word”は、『**発音（構音）が直った**』だと思います。そして、この言葉の後に、「**直った上に**」「**直ったばかりか**」が続くのです。

このような結果が得られる指導を“子どもを育む構音指導”と呼びたいのです。

機能的構音障害に於いては、構音の誤り方に一喜一憂するのは止めましょう！ 指導（治療）の本質は、そこにはないのですから！！

ほとんどの発語を理解することが難しかった男の子の事例ビフォーアフター 【動画】



「でも、今は、しゃべれるからいいよねー」「あーしゃべれるようになってよかった」とつぶやいた年長男子まさと君の母 【通室しての感想PDF】



[才]列の音が、聴覚的に「ん」に聞こえる構音の誤りのある年中児としお(仮名)さんの指導のBefore-After 【動画】



目標は『小学校入学前までに発音を直す！』こと：年中児としお(仮名)さんの母親 【通室しての感想PDF】



“鼻咽腔閉鎖機能”に問題のない小学3年男子大和君(仮名)の声門破裂音への構音(点)指導のBefore-After 【動画】



不規則な発音の誤りを示した小学3年生：俊輝(仮名)さんの初回検査及び通室26回目でのことばの様相 【動画】



[工]列の構音も側音化構音になる年長児：とみお(仮名)さんの[工]列側音化構音に対する構音指導のBefore-After 【動画】



[ke]の側音化構音【その1】通室10回で指導終了したのぶ君の[kakkeko]の側音化構音と正音の構音動態 【動画】



内容① 側音化構音への構音(点)指導の基礎【構音(点)指導から[ち][し]が出るまで】 = 構音指導の原点  
= 小学3年女児マリさんに対する [ち] 及び [し] の**18分間**の指導から =

この18分の中に、構音(点)指導の原則のほぼ全てが含まれています

内容② 年長児びいさん(通室10回終了)の側音化構音「チ・シ」への構音指導  
通室2回目、構音(点)指導1回目の [tʃi] の指導の視聴と解説

内容③ 「**わたし、心が強くなったの**」と母を驚かせた泣き虫**さゆり**さんの変化

山形言語臨床教育研究会 代表 梅村 正俊

主催；山形言語臨床教育研究会・山形言語臨床教育相談室

開催期日：2023(R5)年8月20日(日) 10時～17時

場所：山形市市民活動支援センター（霞城セントラル23階：高度情報会議室）

講師：梅村 正俊（山形言語臨床教育相談室：言語聴覚士）

演者プロフィール



【講座参加費】基本参加費：7,000円（当日徴収） 募集定員：45名限定【先着順】

【参加の条件】全日程の参加が可能

【参加申込の方法】必要事項の**全てを楷書**で記載し、**FAX**でお申し込み下さい

【参加申込の締切】8月8日(火)…定員になり次第締め切ります

【問い合わせ先】山形言語臨床教育相談室 ※お問い合わせは、**全てFAX**でお願い致します。

990-2483 山形市上町 5-11-24 FAX専用：023-646-6492

## ◎ 機能的構音障害としての「構音の誤り」に対する『構音(点)指導 = 音づくり』の基本

### 側音化構音への指導も含め、構音指導全般の基本

- 構音(点)指導の基本 = 幼児から成人までの構音(点)指導の基本は同じ
- ① 構音指導の際の「誤りの自覚がない」「直す意欲もない」は、指導の難易度とは、**無関係** 従って、むしろ、幼児からの指導の方が**容易**
- ② 正音と誤り音の聴覚的差異の大小は、指導の難しさの理由には、**ならない**
- ③ 『練習として、50回“側音の[チ]”を言わせれば、“側音の[チ]”の練習を50回させたことになり、さらに強固な“側音の[チ]”を習得させることになる』と**心得る**
- ④ 構音運動の反復練習の量が、正音を会話に般化させる唯一の方法ではない **R04・R07**  
※ 側音への指導でも、10~25回前後の通室で終了することが多く、反復練習の量は決定的な要因ではない
- ⑤ 口腔内の図を用い、舌の動かし方等を指導する**必要は、全くない**
- ⑥ 指導を始める際の「今から、チの練習を始めます」等の挨拶は、**しない**  
構音指導の本質は、国語や算数のような学習ではありませんから
- ⑦ 指導を始める際の「私(指導者)が、[チ]と言いますから、あなたも同じように、[チ]と言って下さい」などの指示は、誤り音の構音運動を誘発し、構音指導を**阻害**する
- ⑧ 鏡の使用は、どの年齢においても**必要ない**。特に幼児には、**用いない**



### ＝ 構音指導全般 ＝ ⑤から⑦までの理由

構音運動は、ある言葉を言おうとした瞬間には、発語者の意識とは関係なく構音運動が始まります。つまり、例えば、側音化構音 [tʃi] の構音の場合であっても「ち」を言おうとしたその瞬間には、側音化構音「ち」の構音運動は、すでに始まるのです。

ですから、口腔内の図を用い舌の動かし方を前もって説明する行為は、誤り音（例えば、側音化構音）になる運動を誘発しておいて正音の構音運動を導こうという**矛盾**した行為を要求することになるのです。

当然、正音の構音運動を、自覚的に導き出すことは、かなり難しくなるのです。

## ◎ 側音化構音に対する指導の原則

- 構音(点)指導の基本 = 幼児から成人までの構音(点)指導の基本は同じ
- 側音化構音の指導・治療は、他の構音の誤り方への指導・治療に比べて特に**難しい訳ではありません**。特段の違いは、**無い**のです
- ① 側音化構音に対する指導でも、舌の体操や舌を平らにするなどの指導は**全く必要ない**
- ② [i] に側音化構音が認められても、[i] から指導する**必要は全くない**
- ③ 側音化構音と置換が混在する場合、**側音から指導**することで、**早期終了**が見込める
- ④ 多くの構音に側音化構音が認められる場合、[tʃi] から指導を始めることで、**早期終了**が見込める

### ＝ 側音化構音に対する指導 ＝ ①の理由

「けんか」の[ke]を[te]と構音しようと、[側音のke]と構音しようと、指導として目指す[ke]の構音運動は、同じ構音運動の[ke]のはずです。

仮に、「舌の生理学的病理学的な原因」で、①側音化構音になるのであれば『機能的構音障害』とは言えませんし、②側音化構音[ke]の構音動態が示すように、/k/ の構音運動の開始から「舌が膨らんでくる・額が偏位する」のであれば [keNka]の /ka/も側音にならなければなりません。つまり、[keNka]の発語の際、[ke]のみに側音化構音が生じるのであれば、「舌の生理学的病理学的な原因」で生じている訳ではないといえるのです。

そもそも、舌そのものに「生理学的病理学的な原因」があるのであれば、発語全体が不明瞭になるはずですが、でも実際は、側音化構音になる構音以外は、実に明瞭なのです。

また、「けんか」の[ke]と[ka]の/k/の構音運動は、全く同じ運動なのです。ですから、/k/自体に構音運動としての問題は、全くないのです。従って、『舌の体操』や『舌を平らにする指導』の必要は、無いと考えられるのです。それでも「構音に関わる筋力」を鍛えたい方には、MFTをお勧めします。MFTだけでも歯間音の改善が期待できます。

## ≫ 意のままを行いて、<sup>のり</sup>矩を超えず (孔子) ≪

≪ K領域 = 関わり方・自我の形成・内なる我慢・外への我慢・有能感・有用感・自己肯定感 の育成 ≫

K01：構音への自信

K02：ゲームに負けて泣く・欲しいものが買えないと大泣き・大暴れ 等々への対処

「心が強くなったの」

K03：シールを探すのに時間がかかる

K04：✕バツに弱い⇒強い子へ

K05：消極的な態度 ⇒ 積極的な子へ

K06：集中しないときの対応

K07：本人は「揚げ足をとったつもり」「指導者をからかうような発言」「素直な疑問を言ったつもり」等への対応

K08：ネガティブな発言や自信のない様子に対する対応 ⇒ 次回張り切ってポジティブに通室させるために！

K09：

K10：

## 【A：構音】K領域の指導の場のレポーター

機能的構音障害に於いては、構音の誤り方に一喜一憂するのは止めましょう！ 指導(治療)の本質は、そこにはないのですから！！

- 側音化構音であっても、構音が直った上に、明るくなってお友達もできた。教室で手を挙げるようにもなった。
- 側音化構音であっても、構音が直ったばかりか、私(母親)の話(悩み)も聞いてもらった。
- ✕ 側音化構音は直らなかったけど、私(母親)の話(悩み)を聞いてもらったり、色々相談できたので通って良かった。

A00 『まねっこが楽しい・自信がある・もっと〜〜がしたい』となる指導 = K01

A01 構音検査 等

A02 ×を○に自己修正

A03 「○を×に自己修正」「○と×の混乱と修正」

A04

A05 バラ丸の威力・花丸10個で✕が1個花丸に「へんし〜ん」

A06 鬼滅の刃から：「ことばの心」⇒「壺の型(学校の勉強のポーズ)」「弐の型(花丸ポーズ)」

A07 ○○(シール絵)をつくろう 【戒め！頼りすぎない！】

A08 表記による構音の違い

A09 段階( ) = 「音づくり」への導入【模倣の約束事の確認】

A10 段階( ) = 構音運動を想起できない構音運動の模倣【音づくり=変な音と口のまねっこ(低年齢児への名称)】

A11 段階( ) = 目的音にやや近い構音運動の模倣から≪単音・単音節≫へ さらに、≪続けて言える≫へ

A12 段階( ) = 例えば、[tʃ] や [tʃi] の表記から「ち」の表記での模倣へ【意味化】

A13 段階( ) 音節⇒単語⇒句・文⇒会話的表現で 2023講座：[tʃi・ʃi]系、[ki・ke・k]系の構音指導の視聴

A14 まねっこゲーム A：まねっこゲーム(双六・トランプ) B：まねっこゲーム(X3個で負け)

A15

A16 耳の訓練 A：聞き出し B：異同弁別 C：正誤弁別

A17 記銘力・語音認知等々への指導

A18 リズム打ち

A19 家での練習 ※練習可能な条件：① 誤りの指摘を受けると即座に自己修正ができる ② 練習やゲーム中でも自己修正ができる

A20 終了判断 A：色々な姿勢で B：笑わせる C：早口で D：前歯を軽く噛み合わせたまま E： 2023講座視聴

戒め！ 模倣させて、50回バツになったら、それは、バツの練習を50回行ったことになる！

勧め！ 指導対象児・者の模倣能力に応じた模倣内容を想像し、創造できれば、バツは極力減らすことができる！

## 2023 構音指導講座 ★ 講座の基本的な進め方と日程

### 自分が親ならと考えてみませんか！

構音への様々な指導法を10でも、100でも知っていてもいいのです！でも、知っていることが大切なことではないのです。

大切なのは、今日の前にいるお子さんについて「**早期改善・早期終了を目指す構音指導**」の観点から指導方法を選択し、実際に指導することができることです。

側音に限らず、誤り音のある幼児の親御さんなら「**幼児であっても、指導し、入学までには正音に改善してくれる指導者**」を探すのではないのでしょうか？

### 自分が親ならと考えてみませんか！

お断り①：参加者の更なるご要望により、当日の内容・日程が変更されることがあります。

できるだけご要望にはお応えしたいと考えています。予め、ご了解ください。

お断り②：構音記号は、日本音声言語医学会の**旧表記**です。

お断り③：正音と誤り音の表記は、[誤り方/正音]となっています。

① 演習形式での進行が基本

② 質問がある場合は、講話の途中であっても、話をさえぎってでも質問して下さい！

8月20日(日) ※ 登場するお子さんの名前は、全て仮名です

受付	9時30分～10時頃
10時～12時頃	<p>内容① 機能的構音障害としての側音化構音に対する構音点指導の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学3年女児(まりさん)に対する [ʃi] [tʃi] の18分間の構音(点)指導の視聴と解説  <b>◀ 構音(点)指導開始後18分で [シ・チ] が出る ▶</b></li> </ul> <p>この18分の中に、構音(点)指導の原則のほぼ全てが含まれています</p> <p>お断り：まりさんの指導は、前日も前々日も視聴・解説しました。さらに視聴することで、『指導の流れの基本』をご確認下さい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年長児びいさん(通室10回終了)の側音化構音「チ・シ」への構音指導                  通室2回目、構音(点)指導1回目の [tʃi] の指導の視聴と解説</li> </ul> <p>【時間があれば】 [ki・ke] の『構音(点)指導 [音づくり] 』</p>
昼食・休憩	12時～13時頃
13時～16時30分頃(途中、時々休憩あり)	<p>内容② A13「構音指導の段階」の解説と『会話への般化の手続き』の視聴と解説</p> <p>対象児：年長児・小学1年生の側音化構音で指導を受けた子の3、4人 <small>構音指導プログラム</small></p> <p>対象音：チ・シ・キ・ケ etc</p> <p>図：Ⅲ 会話への般化の手続き《概略》 構音指導プログラム(基本)から</p> <p>A20「終了判断」の手続きの方法の視聴と解説</p> <p>『Xをさがそう』：[エ]列の構音も側音化構音になる年長児とみおさん</p> <p>内容③ 「わたし、心が強くなったの」と母を驚かせた、泣き虫さゆりさんの変化</p>
終了	17時 (お願い：時間の許す方、後片付けのお手伝いを!) <b>Time-remits: !!</b>



# 構音指導の段階（基本）

「構音」を媒介にして、子どもと指導者が楽しめる関係  
 （通室毎のこの子ども） = （共同作業としての構音の改善）

- I 指導開始音の(初めに指導する誤り音)の選定
- II その音と言える(音づくり⇨初回から4回目までの指導をめぐり)

## 1. 目的音が出せる

- 方法；子どもと対面しての口形、舌の動き、発声・発語の模倣  
 子どもへの名称；「べろのまねっこ」「へんな音のまねっこ」  
 「英語のまねっこ」「お口のまねっこ」等々

注) 目的音の子音が簡単に出了らうと、指導者が驚いたり喜んだり、大げさに子どもを褒めたりしない！

## 2. 誤り音の意識化

《 子どもの誤りを肯定しつつ、誤りを自覚させる方法 》  
 あくまでも「ゲームのルール」として、×にする

- 模倣した音での判断【○；じょうず，×；ちがう・へた】
- 舌の形状での判断【○；きゅうりべろ，×；ぶたべろ】 等

注) 指導者の提示する[ち]を、子どもが「ち」と認識して模倣し側音の[ち]になった場合「(ひらがなの「ち」を書いて)～～さんのは「ち」だね。～～さんは「ち」って上手に言えるんだよね。でも、([ち]を書いて)今のまねっこは、「べろのまねっこ」の[ち]なんだよ。」と言って、子どもの誤りを否定しない。

※この段階で自己修正できそうな子どもには、自己修正の利点をゲームなどで実感させる！

## 3. 模倣できるようになった構音への意味づけ

※ 導入の時期；「変なべろのまねっこ」などの名称での模倣であれ、最低、子音レベルで目的音が出せるようになってから！

- 誤りの自覚がない場合；例「べろのまねっこの [ち]ってね、  
 本当はね『ち』なんだよ。」

注) 「ち」をイメージした瞬間に、「あんなに [ち] が上手に言えるようになったの」と思えるほどの [ち] であっても、側音の [ち] に戻ることがある。その場合、「今までは、言えていたはずだから…」と正しい音を出そうと焦らない！

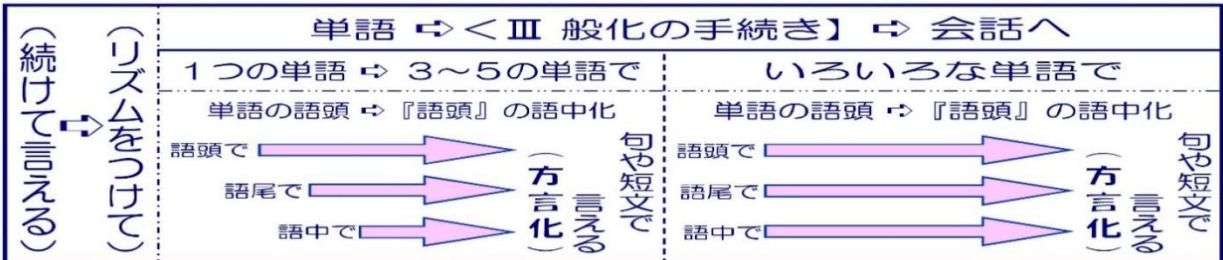
- 誤りの自覚がある場合；「今のが、『ち』なんだよ。」

## 4. 自己修正の導入

※ 導入の時期；「ちいさいの『ち』のイメージ」で [ち] が言える

注) 訓練としては扱わない！ 自己修正の利点をゲームなどで実感させる！

## III 会話への般化の手続き《概略》 構音指導プログラム(基本)から



## IV 終了の判断 ⇨ 日常会話での改善がポイント

- ★ 「どの程度改善したら…？ 終了…？」の考え方は、捨てる！
- 特に舌の状態(形態・動き)を正確に把握 ⇨ 舌の脹らみの消失
- 下顎の偏位の消失

いつでも・どこでも 正しい構音で話ができる

